

病害虫の重点防除時期です！ 適期防除と雑草対策で収量・品質を確保しましょう！

病害虫の適期防除

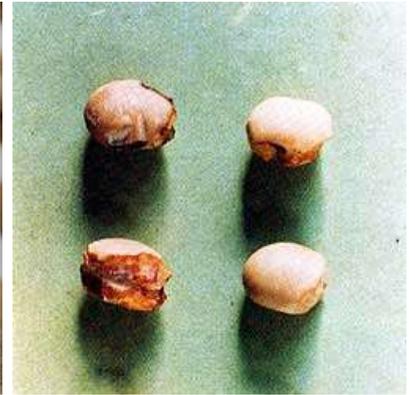
- ◎紫斑粒やマメシクイガの食害は収量・品質に大きく影響を及ぼします。適期を逃さないように防除しましょう。
- ◎**紫斑病は、開花25～35日後が防除適期**です。マメシクイガの1回目と同時防除が可能です。
- ◎**マメシクイガは、8月下旬（8月25日頃）と9月上旬（前回散布の10日後）の2回防除が基本**です。
- ◎防除の際は、莢まで薬剤が付着するようにていねいに散布しましょう。



紫斑粒（子実の発病）



マメシクイガに食害された莢と子実



雑草対策の徹底

- ◎大型雑草を残したまま収穫すると汚損粒を発生させ、品質低下の原因になります。雑草が結実する前に抜き取り、ほ場外へ搬出しましょう。
- ◎特に、帰化アサガオ類などの難防除雑草は翌年に種子を残さないことが重要です。ほ場を確認し、発生が見られる場合は、速やかに手取りしましょう。
- ◎除草剤の畦間・株間処理を行う場合は、専用ノズルを使用し大豆の本葉にかからないよう細心の注意を払いましょう。

農作業事故と熱中症に要注意！ 農薬使用の際はラベルをよく確認。

- ◎ゆとりのある計画、作業前の機械の点検整備で農作業事故を防止しましょう。
- ◎こまめな水分補給と適度な休憩で農作業中の熱中症を防ぎましょう。
- ◎農薬危害防止運動実施中。農薬を適正に使用し、農薬事故を防止しましょう。

